



公開シンポジウム「黄砂・ダスト輸送と越境大気汚染」

1. 主催：日本学術会議農学委員会風送大気物質問題
分科会・日本沙漠学会（夏季シンポジウム）

2. 日時：2009年6月8日（月）13：00～17：00

3. 場所：東京大学理学部4号館2階（1220号室）
（〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1）

4. 開催趣旨：

近年、日本では黄砂・ダスト・汚染物質の飛来が多くなっている。その黄砂・ダストが中国の沙漠・農業地域から、また大気汚染物質が中国の工業地域から韓国や日本等に越境輸送される現象が増加している。今年も、九州・四国から全国的に黄砂飛来の観測状況が報告されている。これら黄砂・ダストや大気汚染物質は日本を越えて、さらには新たに日本から太平洋を越えてアメリカ・カナダへと地球規模で輸送され、あるいはサハラ沙漠のダストはヨーロッパに輸送され、やがてはアジア大陸へと地球規模で輸送されている。これらの黄砂・ダスト・大気汚染による風送大気物質の輸送問題について、最新の情報を収集するとともに、公開シンポジウムにおいて活発に論議することによって、政府・国民に提言を行うための貴重な情報・資料としたい。

5. プログラム：

13：00～13：05 開会挨拶

真木太一（日本学術会議会員・風送大気物質問題分科会委員長、筑波大学北アフリカ研究センター、九州大学名誉教授）

13：05～16：55

座長：山形俊男（日本学術会議連携会員，東京大学）

(1) 地上気象データ，衛星画像で見た黄砂
黒崎泰典（鳥取大学乾燥地研究センター）

(2) 全球モデルでみたアジアの砂漠起源のダストの役割
田中泰宙（気象庁・気象研究所）

(3) 現地観測から推定したタクラマカン砂漠のダスト総量について
甲斐憲次（名古屋大学）

休憩（10分間）

座長：大政謙次（日本学術会議連携会員，東京大学）

(4) 黄砂が運ぶもの
岩坂泰信（金沢大学フロンティアサイエンス機構）

(5) 風送越境大気汚染とその生物影響
青木正敏（日本学術会議連携会員，東京農工大学）

(6) 深海底に降り積もる黄砂
植松光夫（日本学術会議特任連携会員，東京大学海洋研究所）

16：55～17：00 閉会挨拶

鈴木義則（日本学術会議連携会員，九州大学名誉教授）

連絡先：〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学 北アフリカ研究センター

真木太一
Tel・Fax：029-853-6442
E-mail：maki.taichi.fe@u.tsukuba.ac.jp